平成２９年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　　京都府　　】

学校名【　　京都府立西舞鶴高等学校　　】

１ 実践テーマ	【　ⅡⅢⅤ　　】
２ 実施対象者	1本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 書道部員 26 名、１年生 60 名 2京都府立聾学校舞鶴分校児童生徒と本校女子バレーボール部員の交流 女子バレーボール部員 14 名
３ 展開の形式	（１）学校における活動 ① 教科名（　　） ② 行事名（本校文化祭における舞鶴支援学校との交流事業） ③ その他（聾学校舞鶴分校の児童生徒とスポーツを通した交流事業） （２）地域における活動 ① イベント名（　　） ② その他　　（　　）
４ 目標 （ねらい）	１ 障がいを持つ人と交流することを通して、他者に気配りすることの尊さを学ぶ。 ２ 障がいを持つ人と共にスポーツを行い、スポーツが多くの人々を結びつける力があることを知る。 ３ 障がいに対する理解を深め、思いやりの心を育てる。
５ 取組内容	1本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 ＜事前交流会　８月 31 日㈭＞ ・太鼓演奏と書道パフォーマンスの合同リハーサル ・文化祭当日支援学校の児童生徒と交流する本校生徒が、支援学校の児童生徒と「自己紹介」「合唱」「ゲーム」等を行って親睦を深める。 ＜本校文化祭　９月５日㈫＞ ・本校文化祭の開会式で、舞鶴支援学校生徒の和太鼓演奏に合わせて本校書道部員が書道パフォーマンスに取り組む交流事業を行う。

	・舞鶴支援学校生徒を本校生が文化祭の展示等を案内するなどして交流し、障がいをもつ生徒とふれ合うことで、障がい者への理解を深め、共生社会を築くために必要なことを考える機会とする。 2京都府立聾学校舞鶴分校児童生徒と本校女子バレーボール部員の交流 ＜事前学習　7月11日(火)＞ ・交流の事前学習として聾学校の先生に手話を教えてもらう。 ＜バレーボールを通じて交流　7月13日(木)＞ ・府立聾学校舞鶴分校を本校女子バレーボール部員が訪問し、バレーボールの試合等を見てもらう。さらに、聾学校の児童生徒が本校生徒と一緒にバレーボールを行い、スポーツをすることの楽しさを味わってもらう。
6 主な成果	1 他者に気配りすることの大切さを学んだ。 2 耳が聞こえない人はどのように感じているかを考えることで、障がい者に対する理解を深めることができた。 3 互いの違いを認め、尊重する気持ちを育むことができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・事前の打合せを丁寧に行い、実施当日に不安を感じないでリラックスした雰囲気で行えるようにした。 ・相手のことをよく考えて行動するよう指導した。
8 主な課題等	1本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 ・交流する生徒が一部に限られている。 ・事前の打合せ等を丁寧に行う必要がある。 ・取組内容を工夫する。
9 来年度以降の実施予定	1本校文化祭における京都府立舞鶴支援学校との交流 ・取組内容を発展させながら継続して毎年実施する予定である。 2京都府立聾学校舞鶴分校児童生徒と本校女子バレーボール部員の交流 ・参加生徒にとって貴重な経験になるので、他の部活動が交流するなど継続して実施していきたい。